

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1413	報告者	後藤隆徳
年月日	2010年06月12日(土・晴)	2万5千	高妻山
山名	戸隠連峰・高妻山(2352m)		
体力度=4・やや厳しい 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=ある 展望度=よい 三角点名=高妻山 等級=二等			
<h1>日帰りは厳しいお山</h1>			
コースとタイム	下土狩発3:00-戸隠牧場発8:35--不動避難小屋10:20-五地藏山11:14~30-高妻山13:33~14:05-合流14:50-六弥勒15:35-弥勒尾根-牧場17:07-民宿		
単純標高差	上り 戸隠牧場約1202m~高妻山2352m=約1150m 下り 同上		
参加者	L後藤、世古、土屋、村山、ほか全13名		



高妻山は13日予定だったが悪天候予報で12日に変更。信濃町道の駅に着くとSさんが靴を置いて来たことに気づく。急遽、仲間のズックを借りた。暗い早朝の出発は荷物点検は十二分にしたい。

蟻の戸渡り尾根を上る若手4名を奥社で下す。内1名は元会員の女性。残り9名は牧場から登山開始。牧場では口蹄疫消毒用の箱で登山靴を消毒。天気は快晴・高温。一不動避難小屋を目指す。途中の滝には残雪があった。

2時間ほどで避難小屋着。ここは昔、一夜山から縦走時泊まったことがある。

五地藏山、六弥勒(みろく)に向かう。蟻隊は無事、垂壁・戸渡りを終了。無線が明瞭で行動把握は万全。この辺りから白根葵・岩鏡・燕万年青が目立つ。ただ、以前より白根葵は大幅に減った。六弥勒からアップダウンが続き効率は悪い。

上からツアー登山20名位が下りて来た。どうやら誰かこの上の雪渓で滑落した模様。実際そこに行ったらピッケル・アイゼンが無いと厳しい所。去年は死亡事故があり、先週はヘリ救助も出たという。

しかし、ズック履きでストックなしの若者がブッシュを掴んで必死の形相で下りている。貰い事故は怖いし、これでは事故は減らない。無知・無理・無謀。

何回目かの頂上に立った。寝不足で厳しかった。最低コル上で蟻隊と合流。彼らはここから最後の踏ん張りて頂上を目指す。六弥勒から新道を下る。1時間強で牧場は嬉しい。20時、蟻隊は12時間のハードコースを懐に納め、頼もしい笑顔で帰着した。

